

平成27年4月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年12月12日

上場取引所 東

上場会社名 MICS化学株式会社

コード番号 7899 URL <http://www.c-mics.com/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 三宅 利定

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 管理及び開発推進管掌 (氏名) 伊藤 久美

四半期報告書提出予定日 平成26年12月12日

配当支払開始予定日

TEL 0561-39-1211

平成27年1月8日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年4月期第2四半期の連結業績(平成26年5月1日～平成26年10月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年4月期第2四半期	1,292	△1.3	△7	—	△2	—	△5	—
26年4月期第2四半期	1,309	0.6	15	43.7	25	30.5	7	—

(注) 包括利益 27年4月期第2四半期 △10百万円 (—%) 26年4月期第2四半期 6百万円 (36.6%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年4月期第2四半期	△1.06	—
26年4月期第2四半期	1.47	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産	
	百万円	円 銭	百万円	円 銭		円 銭	円 銭
27年4月期第2四半期	4,513	—	3,054	—	67.7	582.91	—
26年4月期	3,930	—	3,085	—	78.5	588.96	—

(参考) 自己資本 27年4月期第2四半期 3,054百万円 26年4月期 3,085百万円

2. 配当の状況

	年間配当金					合計
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	円 銭	
26年4月期	—	4.00	—	4.00	8.00	8.00
27年4月期	—	4.00	—	—	—	—
27年4月期(予想)	—	—	—	4.00	—	8.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年4月期の連結業績予想(平成26年5月1日～平成27年4月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,700	1.8	25	△31.6	33	△40.6	12	△50.4	2.29

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

27年4月期2Q	5,850,000 株	26年4月期	5,850,000 株
----------	-------------	--------	-------------

② 期末自己株式数

27年4月期2Q	610,606 株	26年4月期	610,606 株
----------	-----------	--------	-----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

27年4月期2Q	5,239,394 株	26年4月期2Q	5,239,394 株
----------	-------------	----------	-------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の金融緩和策等の効果により雇用環境の改善や景気回復への期待感が高まったものの、消費税率引上げによる生活防衛意識は根強く残り、消費税増税前の駆け込み需要の反動や物価上昇に伴う実質所得の影響などから、先行き不透明な状況のまま推移いたしました。

このような状況のなか、当社グループは新5層フィルムによる多角的に市場をつかむ活動を継続中であり、新規案件の獲得に努めてまいりました。その中で、第1四半期に供給を開始した5層広幅フィルム及び深絞り市場向けポイルタイプのフィルムなどの拡販が進みましたが、消費税増税後の需要の落ち込みをわずかに補うことができず、その結果、売上高は12億92百万円（前年同四半期比1.3%減）となりました。

利益につきましては、全社あげてのコスト削減に取り組みましたが、売上が予想に届かなかったことや、当初見込んでいた原材料価格アップ分の販売価格への転嫁が市場競争の中で困難であったことから、営業損失が7百万円（前年同四半期は営業利益15百万円）となりました。また、受取利息や作業くず売却益の計上等を加えた経常損失は2百万円（前年同四半期は経常利益25百万円）、四半期純損失は5百万円（前年同四半期は四半期純利益7百万円）となりました。

用途別の売上高につきましては、食品分野では、消費税増税の影響による個人消費減少は続いておりますが、三方規格袋の増加及び深絞りフィルムの拡販で補填することができました。その結果、7億93百万円（前年同四半期比1.0%増）となりました。

非食品分野では、医療分野において第1四半期同様の在庫調整や自動車国内向け製品の減少など、大口需要の減少が続きました。その結果、2億34百万円（前年同四半期比8.8%減）となりました。

商品等につきましては、突き刺し強度の高いフィルム（SPパック）は堅調な推移が続きましたが、その他商品の取扱いが減少しました結果、2億63百万円（前年同四半期比0.8%減）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### (資産)

当第2四半期連結会計期間末における流動資産は24億63百万円となり、前連結会計年度末に比べ88百万円減少いたしました。これは主に受取手形及び売掛金が76百万円増加したものの、現金及び預金が1億49百万円、原材料及び貯蔵品が8百万円減少したこと等によるものであります。

固定資産は20億50百万円となり、前事業年度末に比べ6億71百万円増加いたしました。これは主に投資有価証券が7億4百万円増加したものの、建物及び構築物が11百万円、機械装置及び運搬具が26百万円減少したこと等によるものであります。

この結果、総資産は、45億13百万円となり、前事業年度末に比べ5億83百万円増加いたしました。

#### (負債)

当第2四半期連結会計期間末における流動負債は13億99百万円となり、前事業年度末に比べ6億6百万円増加いたしました。これは主に未払金が7億10百万円、その他の内、設備未払金が9百万円、未払消費税等が5百万円増加したものの、その他の内、設備支払手形が1億18百万円減少したこと等によるものであります。

固定負債は60百万円となり、前事業年度末に比べ8百万円増加いたしました。これは主にその他の内、リース債務が7百万円増加したこと等によるものであります。

この結果、負債合計は、14億59百万円となり、前事業年度末に比べ6億15百万円増加いたしました。

#### (純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は30億54百万円となり、前事業年度末に比べ31百万円減少いたしました。これは主に四半期純損失5百万円、剰余金の配当20百万円等によるものであります。

この結果、自己資本比率は67.7%となりました。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という)は、前連結会計年度末に比べ1億49百万円減少し、14億67百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は0百万円となりました。

これは減価償却費56百万円、たな卸資産の減少5百万円、未払消費税等の増加6百万円、利息及び配当金の受取額3百万円等があったものの、売上債権の増加76百万円等があったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は1億24百万円となりました。

これは貸付金の回収による収入8億円があったものの、有形固定資産の取得による支出1億24百万円、貸付けによる支出8億円等があったことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は24百万円となりました。

これは配当金の支払額21百万円等があったことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年4月期の業績予想につきましては、平成26年9月12日に公表いたしました業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動  
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用  
該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
該当事項はありません。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年4月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年10月31日)
<b>資産の部</b>		
<b>流動資産</b>		
現金及び預金	1,617,392	1,467,839
受取手形及び売掛金	702,975	779,692
商品及び製品	86,373	90,594
仕掛品	51,687	50,807
原材料及び貯蔵品	58,079	49,467
その他	35,155	24,948
貸倒引当金	△86	△95
流動資産合計	2,551,577	2,463,255
<b>固定資産</b>		
<b>有形固定資産</b>		
建物及び構築物(純額)	395,588	383,692
機械装置及び運搬具(純額)	275,352	249,274
土地	634,701	634,701
その他(純額)	11,967	17,332
有形固定資産合計	1,317,610	1,285,001
無形固定資産	63	9
<b>投資その他の資産</b>		
投資有価証券	33,839	738,083
その他	27,174	27,650
貸倒引当金	△11	△141
投資その他の資産合計	61,001	765,593
固定資産合計	1,378,675	2,050,604
資産合計	3,930,253	4,513,859

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年4月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年10月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	544,737	541,336
短期借入金	16,000	16,000
1年内返済予定の長期借入金	2,004	2,004
未払法人税等	10,812	8,976
賞与引当金	17,192	19,839
未払金	35,520	745,936
その他	166,523	65,303
流動負債合計	792,789	1,399,397
固定負債		
長期借入金	3,320	2,318
役員退職慰労引当金	35,556	37,343
退職給付に係る負債	1,882	2,817
資産除去債務	10,500	10,500
その他	400	7,408
固定負債合計	51,658	60,387
負債合計	844,447	1,459,784
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	774,000	774,000
資本剰余金	1,150,310	1,150,310
利益剰余金	1,810,704	1,784,196
自己株式	△263,394	△263,394
株主資本合計	3,471,620	3,445,112
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,373	△3,294
土地再評価差額金	△387,533	△387,533
為替換算調整勘定	345	△209
その他の包括利益累計額合計	△385,814	△391,036
純資産合計	3,085,805	3,054,075
負債純資産合計	3,930,253	4,513,859

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年5月1日 至平成25年10月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年5月1日 至平成26年10月31日)
売上高	1,309,187	1,292,367
売上原価	951,648	961,670
売上総利益	357,539	330,696
販売費及び一般管理費	341,859	338,344
営業利益又は営業損失(△)	15,680	△7,648
営業外収益		
受取利息	4,117	1,954
受取配当金	552	592
受取補償金	1,464	1,133
作業くず売却益	2,858	2,370
その他	1,231	372
営業外収益合計	10,224	6,424
営業外費用		
支払利息	252	166
固定資産除却損	—	473
売上割引	381	582
その他	22	118
営業外費用合計	656	1,340
経常利益又は経常損失(△)	25,248	△2,564
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期 純損失(△)	25,248	△2,564
法人税、住民税及び事業税	7,151	5,002
法人税等調整額	10,376	△2,016
法人税等合計	17,527	2,985
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	7,720	△5,550
四半期純利益又は四半期純損失(△)	7,720	△5,550

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成25年5月1日 至 平成25年10月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成26年5月1日 至 平成26年10月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	7,720	△5,550
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△946	△4,667
為替換算調整勘定	84	△554
その他の包括利益合計	△861	△5,222
四半期包括利益	6,858	△10,772
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	6,858	△10,772

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成25年5月1日 至 平成25年10月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成26年5月1日 至 平成26年10月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	25,248	△2,564
減価償却費	45,061	56,434
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△16,715	1,787
賞与引当金の増減額(△は減少)	5,253	2,647
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△27	139
受取利息及び受取配当金	△4,645	△2,546
支払利息	252	166
売上債権の増減額(△は増加)	△82,302	△76,717
たな卸資産の増減額(△は増加)	△53,987	5,271
仕入債務の増減額(△は減少)	101,461	△3,400
未払金の増減額(△は減少)	9,736	1,740
未払消費税等の増減額(△は減少)	7,668	6,164
その他	13,070	11,893
小計	50,074	1,015
利息及び配当金の受取額	4,599	3,204
利息の支払額	△252	△166
法人税等の支払額	△21,076	△3,999
営業活動によるキャッシュ・フロー	33,346	54
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△35,716	△124,233
貸付けによる支出	△150	△800,000
貸付金の回収による収入	250	800,075
その他	△9,646	△52
投資活動によるキャッシュ・フロー	△45,262	△124,210
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の増減額(△は減少)	△744	—
長期借入金の返済による支出	△1,169	△1,002
配当金の支払額	△21,034	△21,194
その他	—	△2,525
財務活動によるキャッシュ・フロー	△22,947	△24,722
現金及び現金同等物に係る換算差額	469	△673
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△34,394	△149,552
現金及び現金同等物の期首残高	777,017	1,617,392
現金及び現金同等物の四半期末残高	742,622	1,467,839

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当社グループは、プラスチックフィルム製造事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。